

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和3年1月28日(2021.1.28)

【公開番号】特開2020-190676(P2020-190676A)

【公開日】令和2年11月26日(2020.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2020-048

【出願番号】特願2019-96779(P2019-96779)

【国際特許分類】

G 10 H 1/00 (2006.01)

G 10 G 1/04 (2006.01)

【F I】

G 10 H 1/00 102Z

G 10 G 1/04

【手続補正書】

【提出日】令和2年12月9日(2020.12.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

態様の一例の電子楽器では、演奏操作子と、音高列と、前記音高列に対応した第1種類の演奏に係る特徴量との関係が学習されている学習済み音響モデルを記憶しているメモリと、前記演奏操作子による演奏操作で指定される音高列のデータを前記学習済み音響モデルに入力し、前記入力に応じて前記学習済み音響モデルが出力した前記特徴量のデータに基づいて前記第1種類の演奏に対応した楽音データを出力する制御部と、を備える。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

演奏操作子と、

音高列と、前記音高列に対応した第1種類の演奏に係る特徴量との関係が学習されている学習済み音響モデルを記憶しているメモリと、

前記演奏操作子による演奏操作で指定される音高列のデータを前記学習済み音響モデルに入力し、前記入力に応じて前記学習済み音響モデルが出力した前記特徴量のデータに基づいて前記第1種類の演奏に対応した楽音データを出力する制御部と、
を備える電子楽器。

【請求項2】

前記第1種類の演奏に係る特徴量は、或る演奏家による或る楽器の演奏に係る音響的な特徴量であり、

前記制御部は、入力された音高列のデータに応じて前記学習済み音響モデルが出力した特徴量のデータに基づいて、前記演奏操作子によって演奏されていない前記或る演奏家の演奏技法を含む演奏に対応した楽音データをデジタル合成し、出力する、

請求項1に記載の電子楽器。

【請求項3】

前記第1種類の演奏に係る特徴量は、前記音高列に含まれる各音高の、発音タイミング、発音長、拍の強弱のうちの少なくとも1つを示す特徴量であり、

前記学習済み音響モデルは、各音高の、発音タイミング、発音長、拍の強弱のいずれのデータも含まない音高列のデータを入力し、各音高の、発音タイミング、発音長、拍の強弱のうちの少なくとも1つを示す特徴量のデータを出力し、

前記制御部は、前記学習済み音響モデルが出力した特徴量のデータに基づいて、各音高の、発音タイミング、発音長、拍の強弱のうちの少なくとも1つが調整された楽音データを出力する、

請求項1または2に記載の電子楽器。

【請求項4】

前記第1種類の演奏に係る特徴量は、前記音高列に含まれる各音高の、発音タイミング、発音長、拍の強弱を示す特徴量であり、

前記学習済み音響モデルは、各音高の、発音タイミング、発音長、拍の強弱のうちの少なくとも1つを含まない音高列のデータを入力し、各音高の、発音タイミング、発音長、拍の強弱の全てを示す特徴量のデータを出力し、

前記制御部は、前記学習済み音響モデルが出力した特徴量のデータに基づいて、各音高の、発音タイミング、発音長、拍の強弱の全てが調整された楽音データを出力する、

請求項1から3のいずれかに記載の電子楽器。

【請求項5】

前記学習済み音響モデルは、
或る演奏家による或る楽器の演奏結果を示す学習用楽器音声データと、前記学習用楽器音声データに応じた学習用音高データを含む学習用楽譜データと、を機械学習することにより得られた学習済み音響モデルである、

請求項1から4のいずれかに記載の電子楽器。

【請求項6】

前記第1種類の演奏は、西洋の楽譜におけるシンボルであるスラーを含むアーティキュレーションズのなかの1つを少なくとも含む、

請求項1から5のいずれかに記載の電子楽器。

【請求項7】

前記制御部は、
前記演奏操作子による第1ユーザ操作に応じて、第1タイミングから第2タイミングまでの複数の第1ノートを含む第1フレーズデータを取得し、

前記第1フレーズデータに対応する前記或る演奏家の演奏技法を含む第1サウンドデータの繰り返し出力を指示する、

請求項1から6のいずれかに記載の電子楽器。

【請求項8】

前記制御部は、
前記演奏操作子による第2ユーザ操作に応じて、第3タイミングから第4タイミングまでの複数の第2ノートを含む第2フレーズデータを取得し、

前記第2フレーズデータに対応する前記或る演奏家の前記演奏技法を含む第2サウンドデータの繰り返し出力を指示し、

前記第1サウンドデータと前記第2サウンドデータを重ね合わせて繰り返し出力させる、

請求項7に記載の電子楽器。

【請求項9】

ペダル操作子を更に含み、
前記制御部は、前記ペダル操作子へのユーザ操作に応じて、前記第1フレーズデータ又は前記第2フレーズデータを取得する、請求項8に記載の電子楽器。

【請求項10】

前記制御部は、

前記第2フレーズデータにおける複数の第2ノートの各スタートタイミングを、前記第1サウンドデータにおける複数の第1ノートの、拍の先頭に必ずしも一致していない各スタートタイミングに、変更し、

前記第1サウンドデータの複数の第1ノートの各スタートタイミングに基づいて変更された前記第2サウンドデータを生成する、

請求項8又は9に記載の電子楽器。

【請求項11】

前記制御部は、

前記第2フレーズデータにおける前記複数の第2ノートの各音長を、前記第1サウンドデータの前記複数の第1ノートの各音長に、変更し、

前記第2サウンドデータを、前記複数の第2ノートの少なくとも1音長に変更せる、
請求項10に記載の電子楽器。

【請求項12】

前記制御部は、

前記演奏操作子による第1ユーザ操作に応じて夫々タイミングが異なる複数の音高データのフレーズ第1データを前記学習済み音響モデルに第1入力し、

前記第1入力に応じて前記学習済み音響モデルが出力した音響特徴量データに基づいて前記或る演奏家による前記或る楽器のフレーズ第1演奏を推論した第1フレーズ楽器音声出力データを繰り返し第1出力し、

繰り返し出力しているときに、第2ユーザ操作に応じて夫々タイミングが異なる複数の音高データのフレーズ第2データを前記学習済み音響モデルに第2入力し、

前記第2入力に応じて前記学習済み音響モデルが出力した音響特徴量データに基づいて前記或る演奏家による前記或る楽器のフレーズ第2演奏を推論した第2フレーズ楽器音声出力データを、前記第1フレーズ楽器音声出力データの前記第1出力に重ね合わせて第2出力する、

請求項1から10のいずれかに記載の電子楽器。

【請求項13】

前記制御部は、

前記第1出力による前記第2フレーズ楽器音声出力データに含まれる各音それぞれの出力タイミングを、前記第1フレーズ楽器音声出力データの各音それぞれの出力タイミングに合うように、前記第2出力を調整する、

請求項12に記載の電子楽器。

【請求項14】

前記音響特徴量データは、前記或る楽器の共鳴部をモデル化したスペクトルデータと、前記或る楽器の振動源をモデル化した音源データと、を含み、

前記制御部は、

前記スペクトルデータと、前記音源データと、に基づいて、前記楽器音声出力データを出力する、

請求項12または13に記載の電子楽器。

【請求項15】

前記学習済み音響モデルは、少なくともディープニューラルネットワーク及び隠れマルコフモデルのいずれかにより機械学習されている、

請求項1から14のいずれかに記載の電子楽器。

【請求項16】

演奏操作子と、音高列と、前記音高列に対応した第1種類の演奏に係る特徴量との関係が学習されている学習済み音響モデルを記憶しているメモリと、を備える電子楽器が、

前記演奏操作子による演奏操作で指定される音高列のデータを前記学習済み音響モデルに入力し、前記入力に応じて前記学習済み音響モデルが出力した前記特徴量のデータに基づいて前記第1種類の演奏に対応した楽音データを出力する処理を実行する、電子楽器の制御方法。

【請求項 17】

演奏操作子と、音高列と、前記音高列に対応した第1種類の演奏に係る特徴量との関係が学習されている学習済み音響モデルを記憶しているメモリと、を備える電子楽器に、

前記演奏操作子による演奏操作で指定される音高列のデータを前記学習済み音響モデルに入力し、前記入力に応じて前記学習済み音響モデルが出力した前記特徴量のデータに基づいて前記第1種類の演奏に対応した楽音データを出力する処理を実行させる、プログラム。